

最近気になる お金の注目ワードを

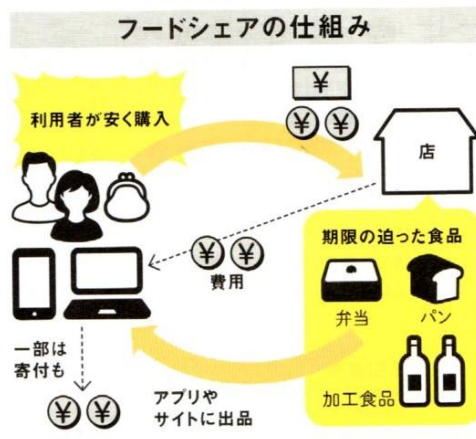
飲食店や店で余った食品を安く買って節約、社会貢献も

フードシェア (フードロスのリユース)

最近、アプリなどが登場しているのは、飲食店で余った食料や、賞味期限間近の食品を、一般消費者が安く買える仕組みだ。「商品数が少ない」との指摘もありますが、より多くの企業が参加すると、お金を節約する一助に。ただし、フードロスの削減には、食品量を減らす「Reduce」が第一。家庭での食品廃棄額は、4人家族で年間6万円というデータも。こちらを減らすほうが、節約効果大です。

飲 食店や企業で売れ残って処分される食品や、家庭で捨てられる食品がフードロス。「なかでも、企業が市場に出せず処分予定だが、品質には問題がないものを、再利用(リユース)する「フードシェア」が目立っています。(フードロス問題に詳しい井出留美さん)。

スーパーで余った食品を生活困窮者に届けようと米国で始まったフードバンクは、「日本では2000年頃に、米国人男性がボランティア活動で始めました。その後、大規模災害の被災者支援などでフードバンクに取り組み企業が増加。寺院が超宗派で取り組み、お供え物をシェアする「おてらおやつクラブ」も活発に活動しています。



フードロスを減らすには「Reduce」が第一です

この人に聞きました
食品ロス問題専門家・ジャーナリスト
井出留美さん

奈良女子大学卒業、博士(栄養学)。食品企業の広報、日本初のフードバンクの広報を経てoffice 3.11代表取締役。著書に『賞味期限のウソ 食品ロスは何で生まれるのか』(幻冬舎新書)。

売れ残りを「予約」するアプリ

TABETE

余りそうなメニューをお得に購入

飲食店が値引きして出品したメニューを検索、引き取り時刻を決めて注文し取りに行く。最寄り駅やジャンルで検索可。注文サイトも。

Reduce GO

月額制で毎日でも利用できる

周辺のパン屋などの商品が表示され、予約してピックアップ。月額1980円で1日2回まで、月に何日でも利用可。料金の2%は寄付に。

期限間近の食品の割引サイト

KURADASHI

加工食品を安くまとめ買い

調味料や加工品といった食品メーカーの在庫品を販売。定価の約4割と安い。まとめ売りが中心なので、仲間を募って買うのに向く。

Otameshi

大手メーカーの商品も多い

食品や飲料、シャンプーやボディローションなどの日用品、ペットフードまで、幅広い商品が手ごろな価格で。購入額の一部は寄付に。

読者発

やって
よかった
おトク情報

ふるさと納税で
保育料を安く

ふるさと納税をする翌年の住民税額が下がり、保育園の保育料が安くなるので、目いっぱい寄付しています。

(33歳・広告・マーケティング)

信託銀行よりも
地元の信金

信託銀行に預けていた5年定期預金が満期になり、「さらに300万円預けないと同等のプランがない」というので解約。代わりに地元の信用金庫の1年定期に預けたら、金利0.4%と高い上に、満期が来たときに追加する額は30万円OK。さらにお米ももらえたりと、大満足!

(43歳・介護ケアマネジャー)

テレビ観覧で
おごづかい稼ぎ

テレビの観覧は、芸能人が近くで見られて、放送前の番組が見られる上に、お金ももらえます。1時間番組の場合、3時間拘束で1000円くらいでした。

(36歳・電機・人事)